

第1章 基本的事項

第1節 作成の趣旨

- 平成20年3月及び平成30年3月に策定した北海道医療計画（以下「道計画」という。）においては、道計画の中核をなす疾病・事業それぞれの医療連携体制の構築とその推進について、地域単位で保健所が市町村、医療機関、関係団体、道民等と共に取組む必要があることから、道計画の策定に合わせ、第二次医療圏の中心となる保健所において、地域の実情に応じた医療連携体制を構築し、円滑に推進するための方針として、圏域ごとに「地域推進方針」を作成しています。また、道計画に合わせ、必要に応じて見直しを行っています。
- 現行の地域推進方針の期間は、道計画と同様、6年間としていることから、令和6年度を始期とする新たな道計画の策定と合わせ、第二次医療圏ごとに設置している保健医療福祉圏域連携推進会議等において、現行の地域推進方針における目標の達成状況や施策の進捗状況の評価などを行い、5疾病・6事業、難病対策及び在宅医療それぞれに係る医療連携体制を構築し、円滑な推進を図るため、札幌圏域における地域推進方針を作成することとしました。
なお、これまで別冊としていた外来医療計画に係る必要な外来医療機能及び対応方針についても地域推進方針において作成することとしました。

第2節 地域推進方針の名称

第二次医療圏の名称を冠し、「北海道医療計画 [札幌圏域地域推進方針]」とします。

第3節 地域推進方針の期間

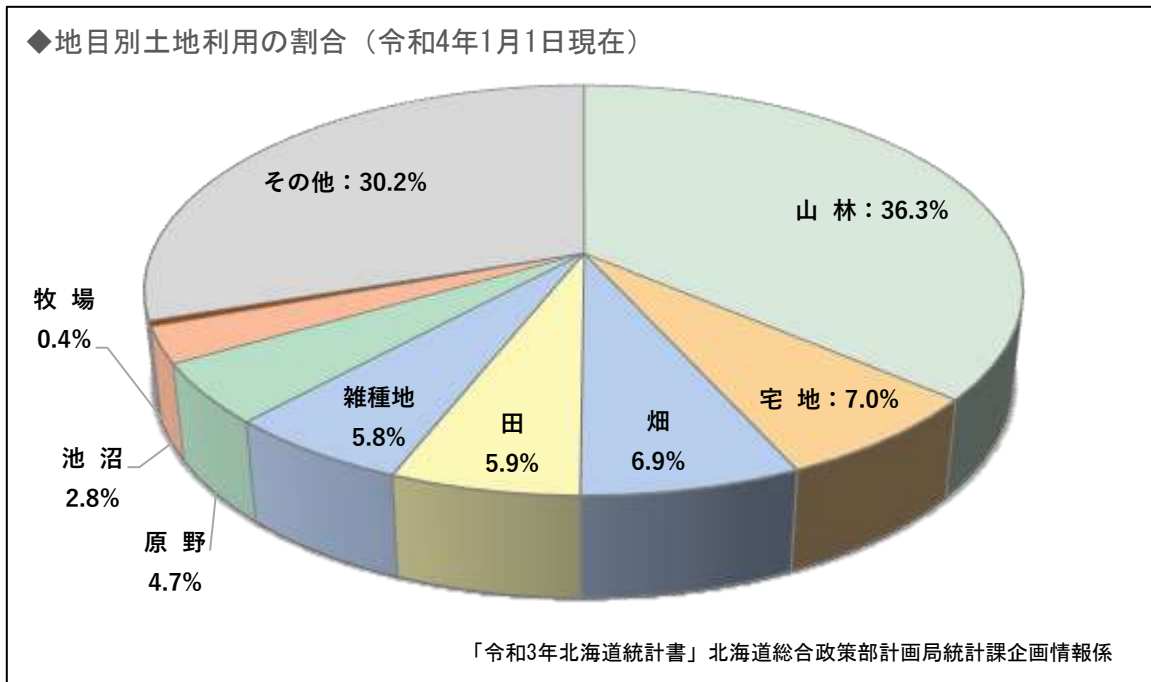
道計画の期間に合わせ、令和6年度から令和11年度までの6年間とします。

ただし、道計画は、在宅医療その他必要な事項については、3年ごとに調査、分析及び評価などを行い、必要がある場合は計画を変更するものとしていますので、地域推進方針についても同様の取扱いとします。

第4節 地域の現況

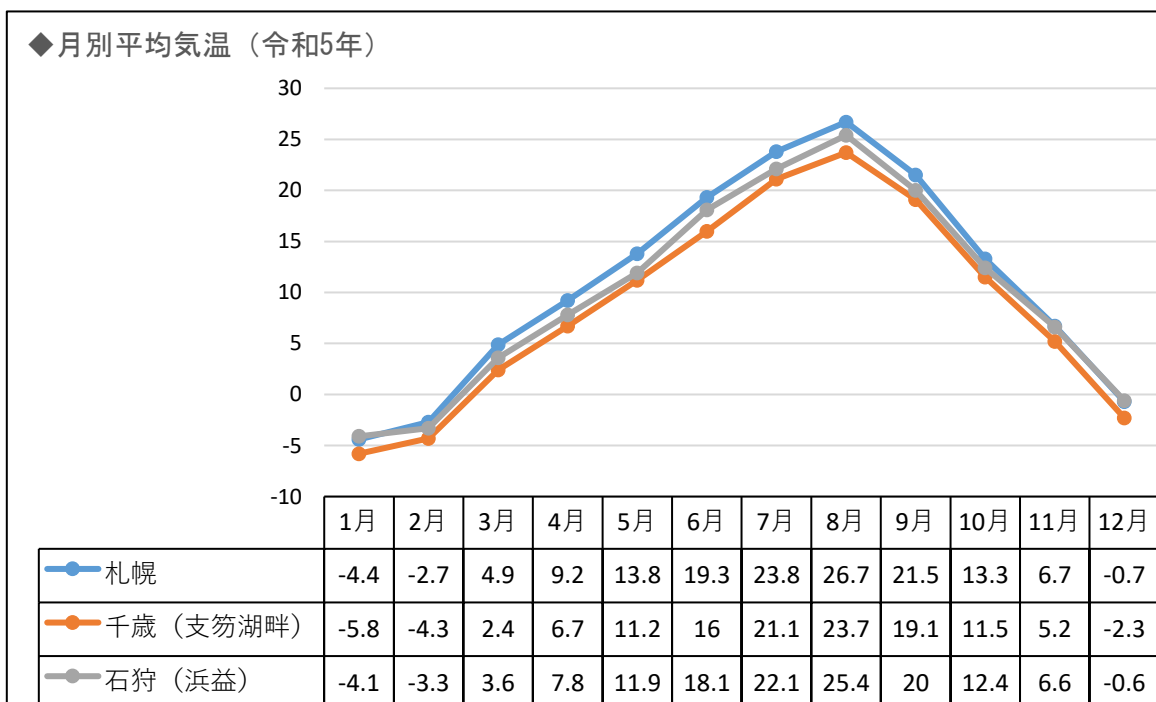
1 地勢

- 札幌圏域は、北海道の中央部のやや西よりに位置し、東西約70km、南北約120kmにわたり、総面積は約3,540km²で、鳥取県とほぼ同じ面積となっています。
- 圏域の中央部を南北に流れる石狩川流域には石狩平野が広がり、道内有数の穀倉地帯であると同時に、札幌市を中心とした大都市圏を形成しています。
- また、南西部には支笏洞爺国立公園、北西部には暑寒別天売焼尻国定公園と、森林資源や自然環境に恵まれた自然美豊かな地域となっています。

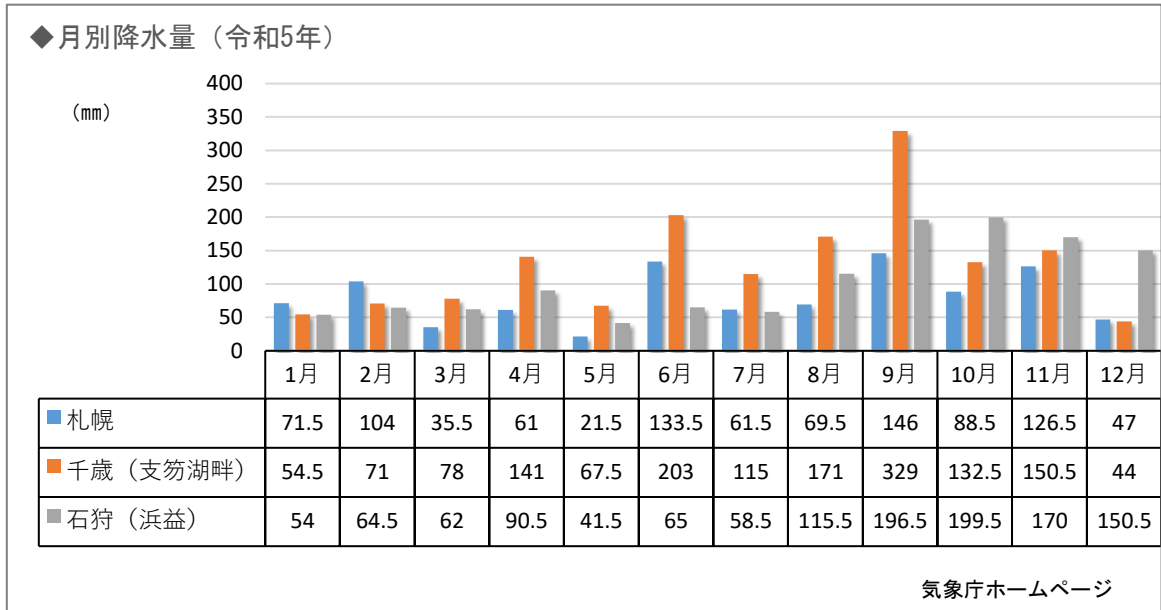


2 気候

- 札幌圏域の大部分は日本海側の気候に属しますが、南部では太平洋側の気候を併せ持っており、北部や中部では春から夏にかけて晴れる日が多く比較的温暖ですが、南部では気温がやや低く霧の発生が見られます。
- また、風向は圏域全域に春から夏にかけて南東の風が、秋から冬にかけては、北西の風が多く、降水量は夏から秋にかけて南部で多くなります。
- 冬期はシベリア大陸からの季節風により、全般に寒冷で雪の日が多くなり、北部や中部では、降雪量も多くなりますが、南部では晴れる日が多くなります。



気象庁ホームページ



3 人口構造

(1) 人口の推移

札幌圏域の人口は2,396,732人（令和2年国勢調査）で、北海道総人口の約46%を占めており、平成27年と令和2年を比較すると、札幌市・江別市・千歳市・恵庭市の4市は増加しましたが、他の4市町村は減少しています。

◆人口の推移（単位：人）

「令和2年国勢調査」

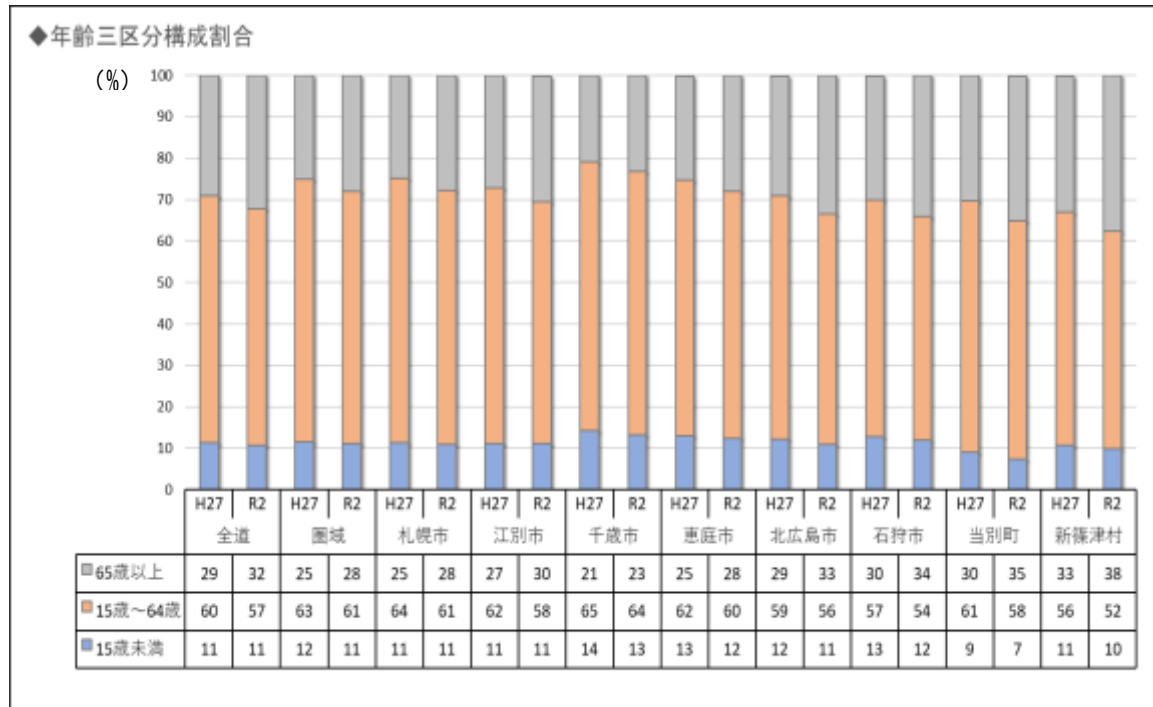
区分	昭和55年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
札幌市	1,401,757	1,671,742	1,757,025	1,822,368	1,880,863	1,913,545	1,952,356	1,973,395
江別市	86,349	97,201	115,495	123,877	125,601	123,722	120,636	121,056
千歳市	66,788	78,946	84,866	88,897	91,437	93,604	95,648	97,950
恵庭市	42,911	55,615	62,351	65,239	67,614	69,384	69,702	70,331
北広島市	34,148	47,758	53,537	57,731	60,677	60,353	59,064	58,171
石狩市	40,783	53,143	57,706	59,734	60,104	59,449	57,436	56,869
当別町	17,316	15,825	19,672	20,778	19,982	18,766	17,278	15,916
新篠津村	4,144	3,811	3,994	3,940	3,737	3,515	3,329	3,044
札幌圏域	1,694,196	2,024,041	2,154,646	2,242,564	2,310,015	2,342,338	2,375,449	2,396,732
全道	5,575,989	5,643,647	5,692,321	5,683,062	5,627,737	5,506,419	5,381,733	5,224,614



「令和2年国勢調査」

(2) 年齢三区分別構成割合

札幌圏域の年齢三区分構成割合について、平成 27 年と令和 2 年の国勢調査結果を比較すると、全道と同様、年少人口割合（15 歳未満）及び生産年齢人口割合（15 歳から 64 歳）が減少し、老年人口割合（65 歳以上）が増加しております。



「令和 2 年国勢調査」

(3) 高齢化の推移

- 札幌圏域における高齢者の状況をみると、人口に占める 65 歳以上の高齢者の割合（高齢化率）は全道平均を大きく下回っており、全道 21 圏域の中で最も低い状況にあります。年々増加しています。
- 圏域内市町村別では、人口の集中する都市部では低くなっていますが、都市部から離れた町村では高くなっています。

◆高齢化率の推移（単位：％）

区分	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
札幌市	24.8	25.5	26.2	26.8	27.4	27.8	28.1	28.4
江別市	27.6	28.4	29.4	30.0	30.5	31.1	31.5	32.0
千歳市	21.0	21.6	22.2	22.7	23.1	23.3	23.7	23.9
恵庭市	25.2	25.9	26.6	27.2	27.6	28.1	28.5	28.7
北広島市	28.5	29.6	30.6	31.4	32.3	33.0	33.5	33.8
石狩市	29.8	31.1	32.1	32.9	33.5	34.0	34.2	34.3
当別町	30.7	32.0	33.2	34.1	35.1	36.1	36.7	36.9
新篠津村	34.0	34.9	36.0	37.1	38.1	38.6	39.5	39.8
札幌圏域	25.1	25.8	26.5	27.2	27.7	28.1	28.5	28.7
全道	28.9	29.7	30.5	31.1	31.7	32.1	32.5	32.8

各年1月1日現在住民基本台帳人口による（北海道保健福祉部福祉局高齢者保健福祉課）

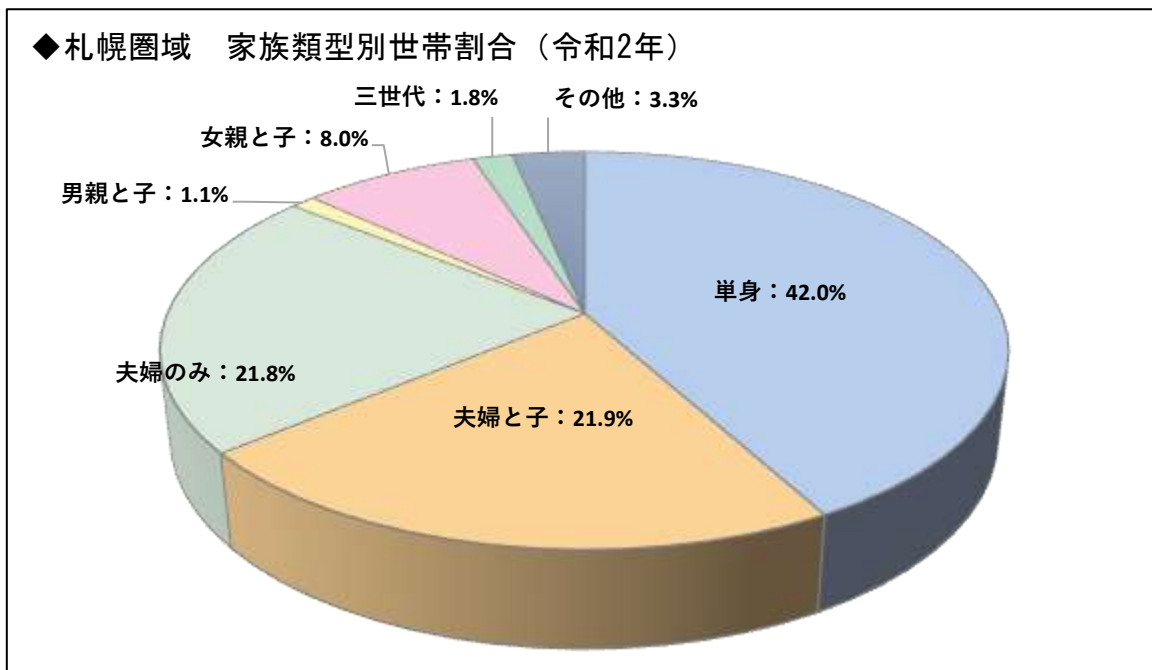
(4) 世帯数

- 令和2年国勢調査による札幌圏域の世帯数は、1,150,940世帯で、その内訳は、「夫婦のみの世帯」が251,440世帯(21.8%)、「夫婦と子の世帯」が252,087世帯(21.9%)、「男親若しくは女親と子の世帯」が105,138世帯(9.1%)、「三世帯世帯」が20,875世帯(1.8%)、「単身世帯」が483,476世帯(42.0%)となっており、平成27年国勢調査との比較では、全道と同様、「夫婦と子の世帯」及び「三世帯世帯」が減少し、「夫婦のみの世帯」、「男親若しくは女親と子の世帯」、及び「単身世帯」が増加しています。

◆世帯の家族類型(単位:世帯)

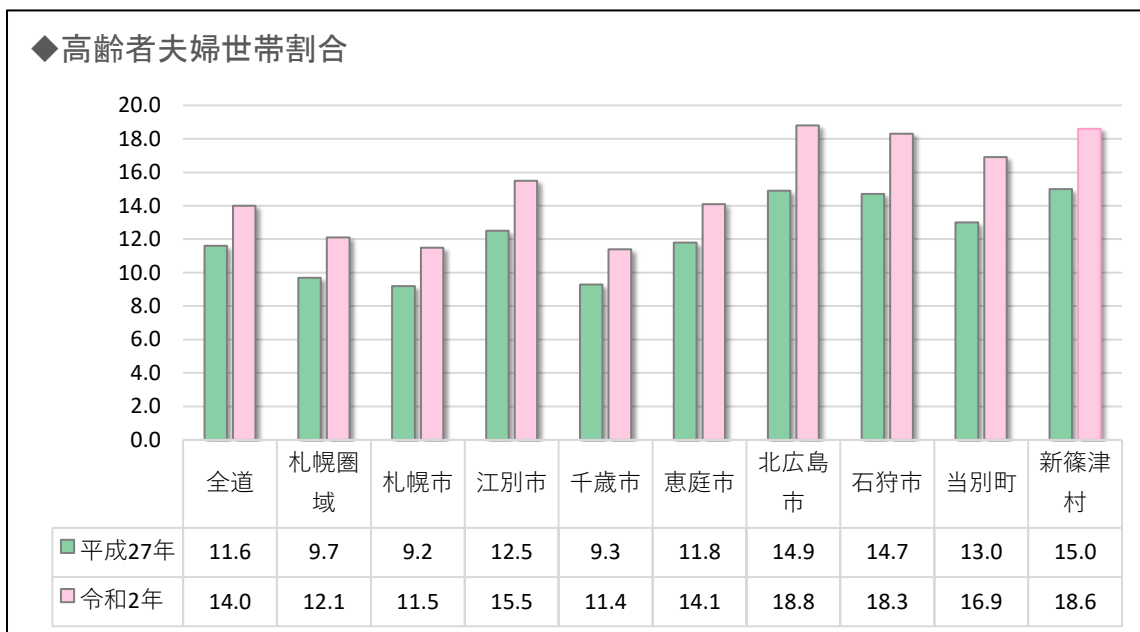
区分		夫婦のみ	夫婦と子	男親と子	女親と子	三世帯	単身	その他	計
札幌市	平成27年	194,424	213,793	10,049	75,378	20,124	375,242	31,405	920,415
	令和2年	204,909	204,131	10,175	77,476	15,727	422,160	32,794	967,372
江別市	平成27年	12,868	14,486	664	4,292	1,533	16,659	1,403	51,905
	令和2年	13,630	13,802	687	4,416	1,315	18,549	1,470	53,869
千歳市	平成27年	9,054	11,459	550	3,052	1,150	14,048	1,152	40,465
	令和2年	9,721	10,982	566	3,315	990	17,068	993	43,635
恵庭市	平成27年	6,953	8,410	396	2,333	1,034	8,768	858	28,752
	令和2年	7,366	8,065	432	2,531	909	9,980	889	30,172
北広島市	平成27年	6,831	7,345	392	1,931	781	5,512	666	23,458
	令和2年	7,187	6,715	382	2,091	582	6,964	627	24,548
石狩市	平成27年	6,190	6,997	398	1,958	992	5,142	885	22,562
	令和2年	6,376	6,600	438	1,962	960	5,868	834	23,038
当別町	平成27年	1,848	1,860	114	503	402	2,340	247	7,314
	令和2年	1,972	1,571	114	481	271	2,601	258	7,268
新篠津村	平成27年	270	238	16	64	155	248	66	1,057
	令和2年	279	221	15	57	121	286	59	1,038
札幌圏域	平成27年	238,438	264,588	12,579	89,511	26,171	427,959	36,682	1,095,928
	令和2年	251,440	252,087	12,809	92,329	20,875	483,476	37,924	1,150,940
全道	平成27年	583,361	553,149	29,518	197,790	78,387	909,106	86,895	2,438,206
	令和2年	584,819	511,571	29,921	198,095	59,601	999,825	85,231	2,469,063

「令和2年国勢調査」



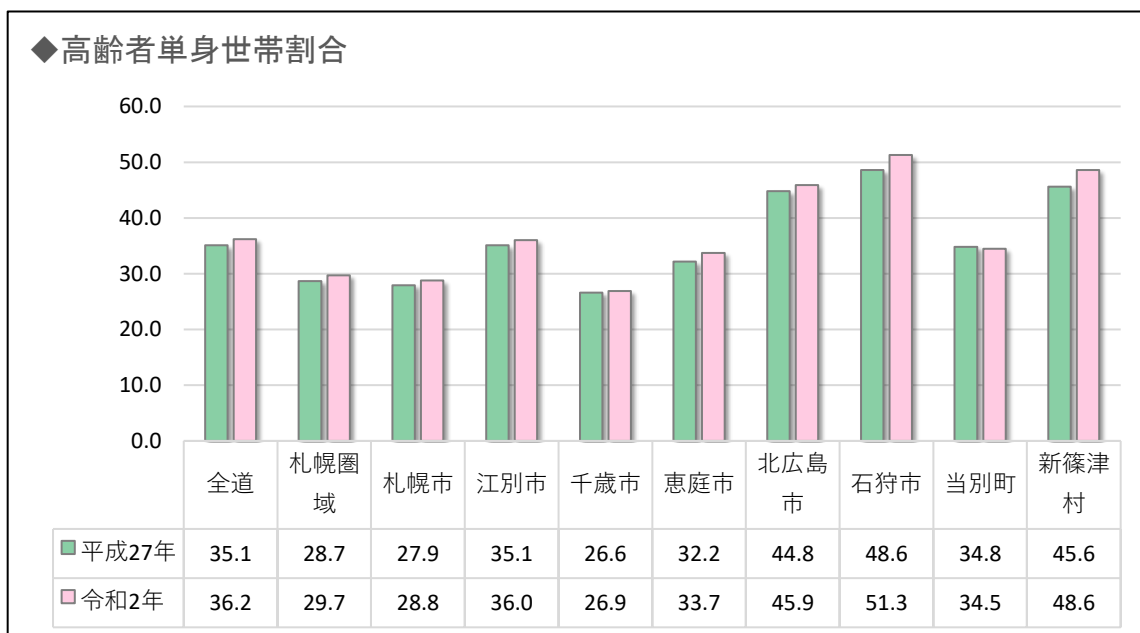
「令和2年国勢調査」

- 札幌圏域の高齢者世帯について、平成27年と令和2年の国勢調査結果を比較すると、全世帯に占める「高齢者夫婦世帯（夫65歳以上、妻60歳以上の世帯）」は2.4%増加しており、全道においても同率増加しています。
- また、単身世帯に占める「高齢者単身世帯（65歳以上）」については、札幌圏域では1.0%の増加（全道は1.1%の増加）、となっており、高齢者世帯の単身化が、全道と同様のペースで進んでいます。



	全道	札幌圏域	札幌市	江別市	千歳市	恵庭市	北広島市	石狩市	当別町	新篠津村
増減	2.4%	2.4%	2.3%	3.0%	2.1%	2.3%	3.9%	3.6%	3.9%	3.6%

「令和2年国勢調査」



	全道	札幌圏域	札幌市	江別市	千歳市	恵庭市	北広島市	石狩市	当別町	新篠津村
増減	1.1%	1.0%	0.9%	0.9%	0.3%	1.5%	1.1%	2.7%	-0.3%	3.0%

「令和2年国勢調査」

4 人口動態

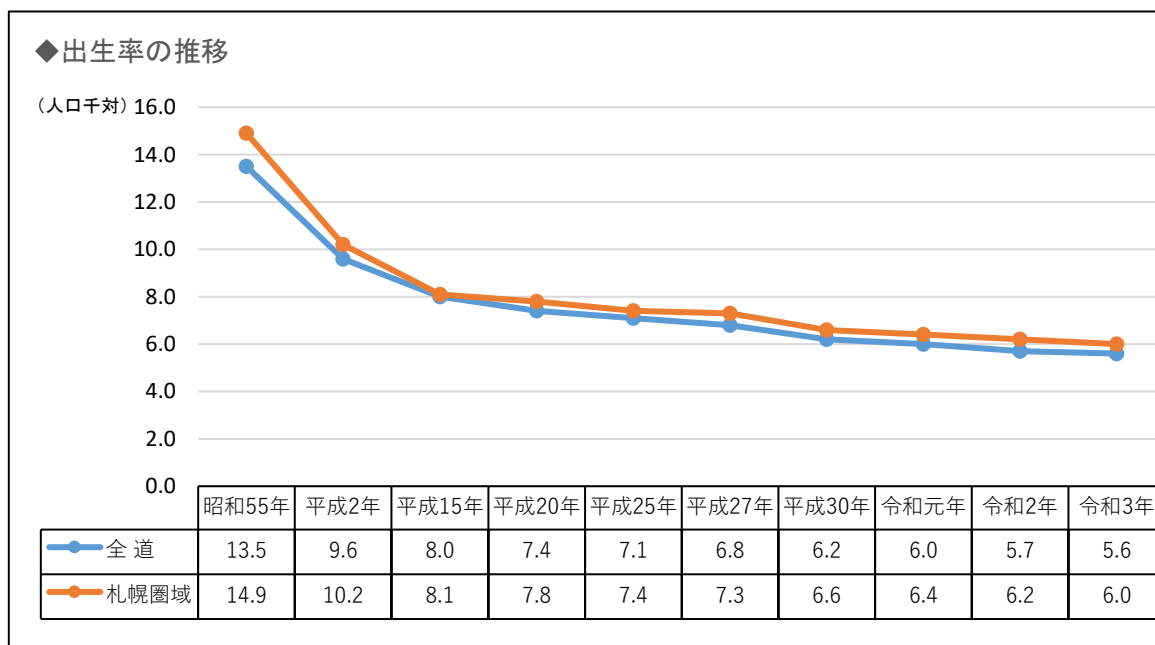
(1) 出生数

- 札幌圏域の令和3年における出生数は14,725人で、昭和55年の出生数に比べ41.6%減少していますが、全道では61.9%の減少であり、全道に比べ減少の度合いは低くなっています。
- また、令和3年の出生率（人口千人対）は6.0%で、全道の5.6%に比べやや高くなっています。

◆出生数推移（単位：人）

区 分	昭和55年	平成2年	平成15年	平成20年	平成25年	平成27年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
全 道	75,526	54,428	44,939	40,936	38,190	36,695	32,642	31,020	29,523	28,762
札幌圏域	25,228	20,682	18,493	17,958	17,448	17,313	15,664	15,224	14,622	14,425
札幌市	20,931	17,425	14,999	14,739	14,591	14,589	13,248	12,741	12,259	11,988
江別市	1,182	822	806	681	696	611	577	623	638	643
千歳市	1,159	951	1,033	992	935	893	762	816	708	737
恵庭市	669	611	619	574	506	486	427	424	424	464
北広島市	490	370	445	384	303	302	266	262	253	246
石狩市	560	355	451	467	340	348	316	295	279	285
当別町	191	124	114	99	53	61	48	51	47	45
新篠津村	46	24	26	22	24	23	20	12	14	17

「北海道保健統計年報」



「北海道保健統計年報」

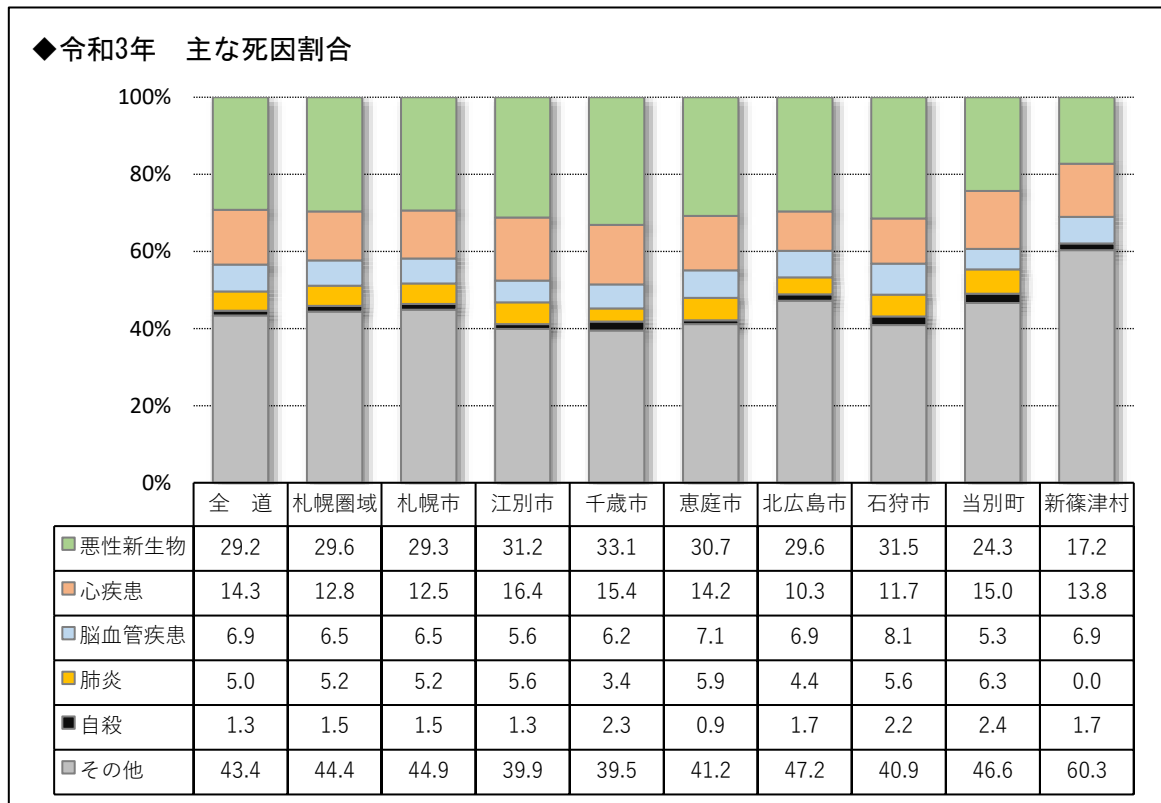
(2) 死亡数

- 札幌圏域の死亡数は全道と同様に増加傾向にあり、出生数を上回る状況となっています。
- また、札幌圏域の死因順位については、全道と同様に第1位が「がん」(29.6%)、第2位が「心疾患」(12.8%)、第3位が「老衰」(7.5%)となっています。

◆死亡数推移 (単位：人)

区分	昭和55年	平成2年	平成15年	平成20年	平成25年	平成27年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
全道	32,434	36,720	46,247	52,955	59,432	60,667	64,187	65,498	65,078	69,023
札幌圏域	7,726	10,099	14,489	17,558	20,421	21,463	23,542	24,043	24,614	26,584
札幌市	6,342	8,278	11,769	14,366	16,844	17,523	19,343	19,778	20,261	21,931
江別市	435	526	828	985	1,035	1,189	1,276	1,227	1,265	1,418
千歳市	273	284	465	567	665	667	771	755	915	785
恵庭市	175	302	390	486	578	663	663	723	669	748
北広島市	141	225	353	447	483	533	617	600	621	710
石狩市	229	317	491	481	589	635	627	690	615	728
当別町	97	131	145	172	181	182	186	196	203	206
新篠津村	34	36	48	54	46	71	59	74	65	58

「北海道保健統計年報」



「北海道保健統計年報」

◆乳児死亡数（単位：人）

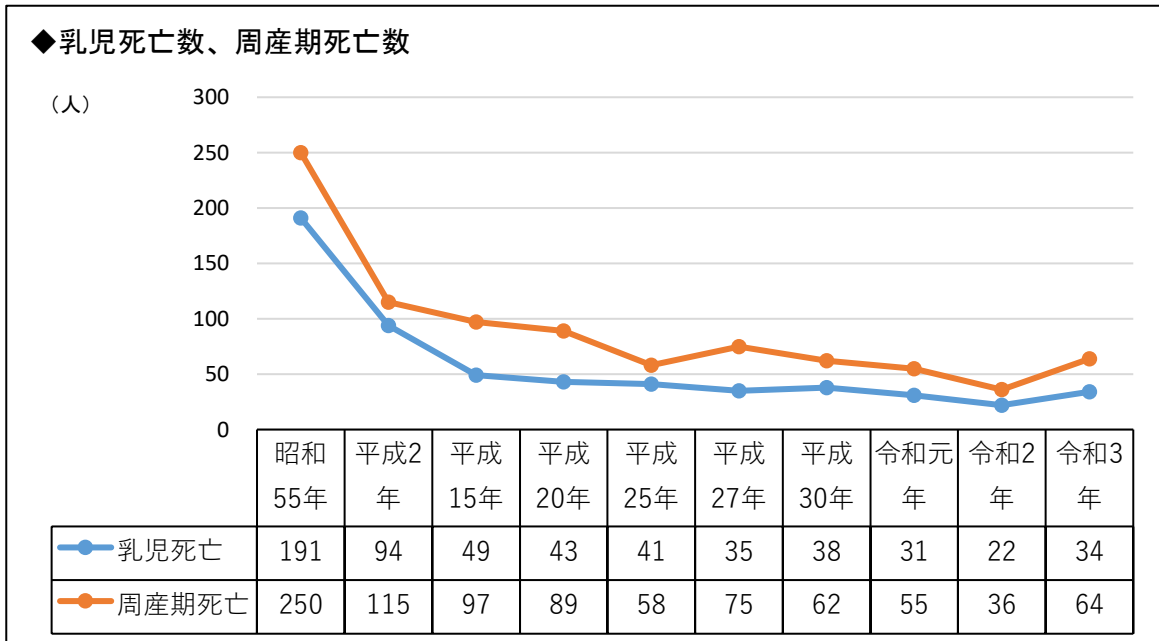
区 分	昭和55年	平成2年	平成15年	平成20年	平成25年	平成27年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
全 道	632	237	133	99	85	73	62	64	59	61
札幌圏域	191	94	49	43	41	35	38	31	22	34
札幌市	156	85	40	34	34	27	34	27	20	23
江別市	8	1	2	2	2	1	0	0	1	1
千歳市	7	1	2	2	2	5	3	3	1	3
恵庭市	6	5	2	2	1	0	0	0	0	2
北広島市	4	2	2	0	1	1	0	1	0	2
石狩市	9	0	1	3	1	1	1	0	0	2
当別町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新篠津村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

「北海道保健統計年報」

◆周産期死亡数（単位：人）

区 分	昭和55年	平成2年	平成15年	平成20年	平成25年	平成27年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
全 道	1,857	754	251	195	138	152	118	112	92	113
札幌圏域	250	115	97	89	58	75	62	55	36	64
札幌市	207	100	75	70	48	63	47	51	32	54
江別市	9	0	6	4	2	2	3	2	2	0
千歳市	10	6	6	4	4	3	9	0	1	3
恵庭市	11	4	5	3	0	4	2	0	0	3
北広島市	6	1	1	1	2	0	1	2	0	1
石狩市	5	4	1	5	2	3	0	0	1	3
当別町	2	0	2	1	0	0	0	0	0	0
新篠津村	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0

「北海道保健統計年報」



「北海道保健統計年報」

5 患者の受療動向

- 令和4年4月から令和5年3月のデータから、札幌圏域の入院・通院自給率をみると、それぞれ99.1%、98.4%と、他圏域と比較しても高い水準となっております。
- また、札幌圏域における受療動向をみると、入院では江別・千歳・恵庭の3市を除き、札幌市内の医療機関での受療率が地元医療機関での受療率を上回っており、当圏域全体として医療機関の集中する札幌市への依存度が高くなっています。
- 通院では、当別町、新篠津村を除いては、札幌市内の医療機関での受療が多いものの、地元医療機関での受療率が上回っています。

◆二次医療圏別入院自給率

患者居住圏	圏域内	患者居住圏	圏域内
札幌	99.1%	北空知	63.4%
上川中部	97.9%	富良野	59.5%
南渡島	97.6%	南空知	58.3%
釧路	96.9%	遠紋	56.7%
十勝	95.8%	留萌	56.5%
北網	92.5%	宗谷	54.1%
西胆振	91.0%	北渡島檜山	29.9%
東胆振	83.0%	根室	27.0%
中空知	80.4%	日高	22.7%
後志	71.9%	南檜山	15.7%
上川北部	68.6%		

◆二次医療圏別通院自給率

患者居住圏	圏域内	患者居住圏	圏域内
南渡島	98.8%	留萌	85.6%
札幌	98.4%	南空知	85.3%
上川中部	98.4%	富良野	84.4%
釧路	97.9%	遠紋	83.3%
十勝	97.6%	宗谷	82.8%
西胆振	97.1%	北空知	81.0%
北網	96.8%	日高	77.8%
東胆振	93.5%	根室	77.7%
中空知	88.9%	北渡島檜山	71.9%
後志	88.5%	南檜山	65.6%
上川北部	86.0%		

「北海道医療データ分析センター事業（令和4年度動向）」

◆札幌圏域の入院及び通院受療流出先圏域

区分	自給率	流出先圏域の構成比					
		後志	南空知	東胆振	その他	南空知	後志
入院	99.1%	0.19%	0.17%	0.13%	0.46%		
通院	98.4%	0.23%	0.10%	0.10%	1.21%		

「北海道医療データ分析センター事業（令和4年度動向）」

◆入院受療率動向

		医療機関所在地								
		札幌市	江別市	千歳市	恵庭市	北広島市	石狩市	当別町	新篠津村	その他
住民の居住地	札幌市	98.5%	0.1%		0.1%	0.2%	0.3%			0.7%
	江別市	47.9%	49.3%	0.1%	0.4%	0.4%	0.1%		0.1%	1.7%
	千歳市	32.3%	0.1%	51.4%	12.6%	0.9%				2.8%
	恵庭市	31.8%	0.3%	5.8%	59.1%	1.8%				1.2%
	北広島市	71.9%	0.7%	0.6%	8.4%	17.2%	0.1%			1.1%
	石狩市	86.0%	0.1%		0.1%	0.1%	12.3%			1.4%
	当別町	84.0%	13.0%		0.2%	0.1%	1.8%		0.1%	0.8%
	新篠津村	39.4%	23.3%				0.0%		3.5%	33.8%

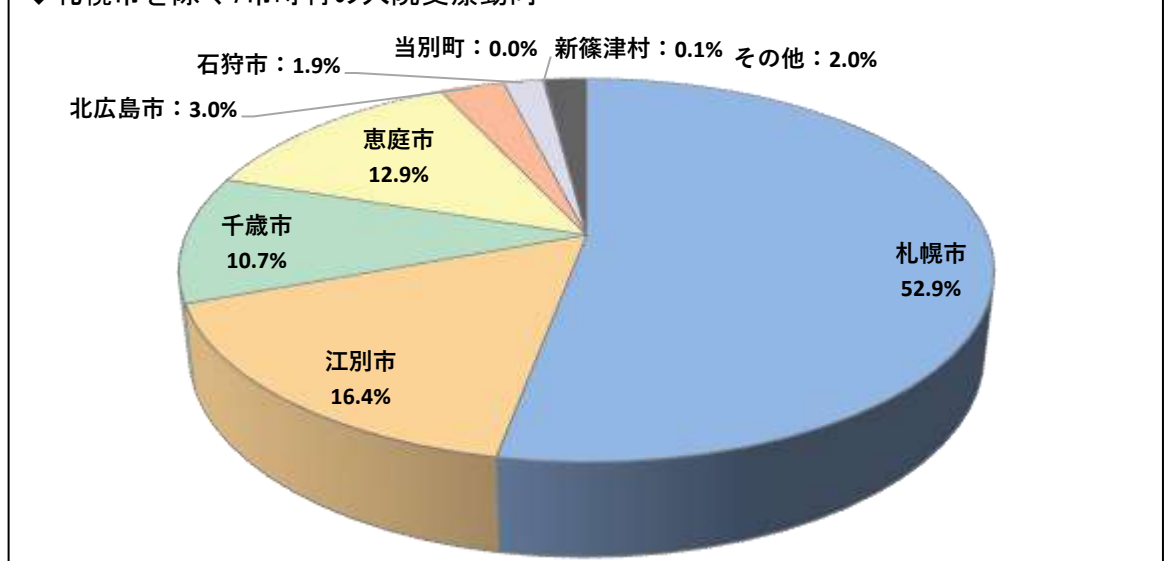
「北海道医療データ分析センター事業（令和4年度動向）」

◆通院受療率動向

		医療機関所在地								
		札幌市	江別市	千歳市	恵庭市	北広島市	石狩市	当別町	新篠津村	その他
住民の居住地	札幌市	97.9%	0.2%		0.1%	0.1%	0.1%			1.5%
	江別市	20.1%	77.4%		0.2%	0.2%				2.1%
	千歳市	7.4%	0.1%	82.8%	6.0%	0.9%				2.8%
	恵庭市	10.8%	0.2%	3.8%	82.5%	1.8%				1.0%
	北広島市	36.1%	0.7%	0.1%	3.3%	58.2%				1.6%
	石狩市	42.2%	0.1%				56.4%	0.6%		0.7%
	当別町	44.7%	9.4%		0.1%	0.1%	0.8%	43.9%	0.1%	1.0%
	新篠津村	11.9%	20.3%	0.1%	0.2%	0.0%	0.1%	1.9%	28.7%	36.7%

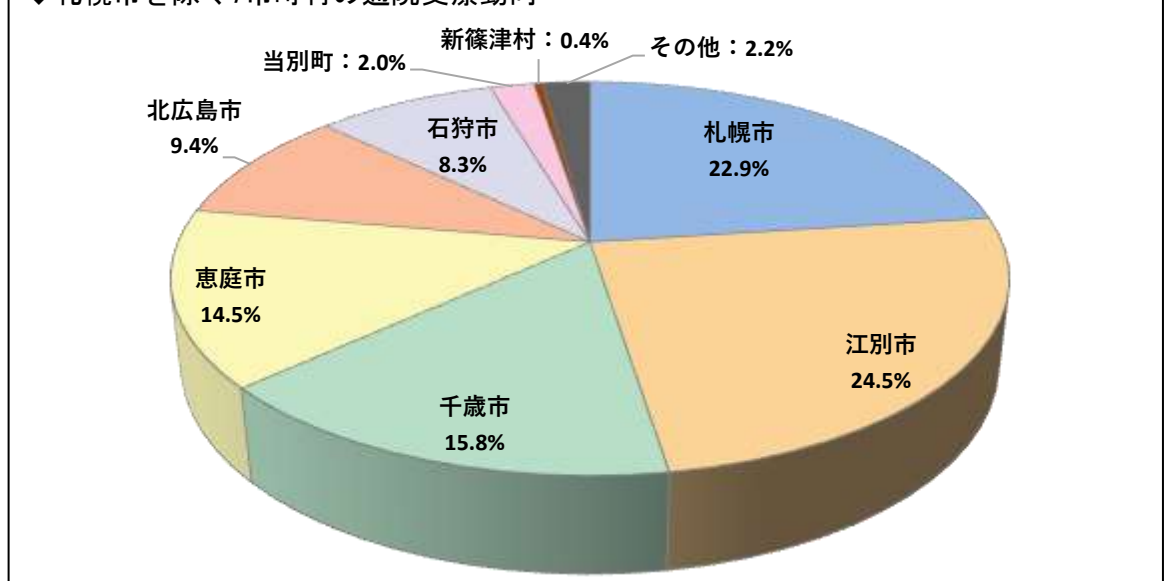
「北海道医療データ分析センター事業（令和4年度動向）」

◆札幌市を除く7市町村の入院受療動向



「北海道医療データ分析センター事業（令和4年度動向）」

◆札幌市を除く7市町村の通院受療動向



「北海道医療データ分析センター事業（令和4年度動向）」

6 医療施設

- 札幌圏域の各医療施設のうち、病院数は231施設（一般病床24,312床、療養病床8,216床、精神病床8,295床、結核病床67床、感染症病床8床）で、診療所数は1,656施設（一般病床2,180床、療養病床68床）、歯科診療所は1,412施設、訪問看護事業所は2,189施設、薬局は1,002施設、助産所は37施設となっており、いずれも全道の4割以上を占めています。
- 多くの医療施設が札幌圏域に集中する中、特に札幌市内に偏在しており、圏域内で地域間格差があります。

◆医療施設数【病院】

	病院							
	病院数		病床数（床）					
	率（人口10万対）	計	一般	療養	精神	結核	感染症	
札幌市	201	10.3	36,492	22,472	6,922	7,023	67	8
江別市	6	5.0	1,173	622	179	372	0	0
千歳市	7	7.2	1,031	348	258	425	0	0
恵庭市	7	10.0	1,098	556	186	356	0	0
北広島市	5	8.7	544	109	435	0	0	0
石狩市	5	8.9	560	205	236	119	0	0
当別町	0	0.0	0	0	0	0	0	0
新篠津村	0	0.0	0	0	0	0	0	0
札幌圏域	231	9.7	40,898	24,312	8,216	8,295	67	8
全道	539	10.4	91,114	52,086	19,279	19,509	146	94
札幌圏域/全道	42.9%	-	44.9%	46.7%	42.6%	42.5%	45.9%	8.5%

「令和3年（2021年）北海道保健統計年報」

◆医療施設数【診療所・歯科診療所】

	診療所					歯科診療所	
	診療所数		病床数（床）			歯科診療所数	
	率（人口10万対）	計	一般	療養	率（人口10万対）		
札幌市	1,413	72.1	1,892	1,847	45	1,206	61.5
江別市	72	59.9	61	61	0	63	52.4
千歳市	58	59.8	97	97	0	45	46.4
恵庭市	36	51.5	65	65	0	35	50.0
北広島市	36	62.6	38	38	0	32	55.6
石狩市	26	46.3	76	68	8	24	42.7
当別町	12	77.2	0	0	0	6	38.6
新篠津村	3	101.4	19	4	15	1	33.8
札幌圏域	1,656	69.6	2,248	2,180	68	1,412	59.3
全道	3,400	65.6	5,210	4,891	319	2,818	54.4
札幌圏域/全道	48.7%	-	43.1%	44.6%	21.3%	50.1%	-

「令和3年（2021年）北海道保健統計年報」

◆医療施設数【訪問看護事業所・薬局・助産所】（保健所別）

	訪問看護事業所		薬局数	助産所数
	訪問看護ステーション数	保健医療機関のみなし指定事業所数		
札幌市	351	1,573	844	27
江別	25	104	80	5
千歳	24	112	78	5
札幌圏域	400	1,789	1,002	37
全道	686	2,948	2,339	70
札幌圏域/全道	58.3%	60.7%	42.8%	52.9%

「令和3年（2021年）北海道保健統計年報」

7 保健医療従事者数

- 札幌圏域の保健医療従事者数のうち、医師数は 7,534 人、歯科医師数は 2,529 人、薬剤師数は 6,445 人、歯科衛生士数は 3,641 人、歯科技工士数は 1,076 人、保健師数は 919 人、助産師数は 838 人、看護師数は 33,651 人、准看護師数は 4,802 人となっており、保健師と准看護師以外は、いずれも全道の 5 割以上を占めています。
- 人口 10 万対比でみると、保健師と准看護師以外はいずれも全道値を上回っていますが、医療施設と同様に、札幌市内に偏在しており、圏域内で地域間格差があります。

◆保健医療従事者数【医師・歯科医師・薬剤師】

	医師		歯科医師		薬剤師	
	実数	人口 10万対	実数	人口 10万対	実数	人口 10万対
札幌市	6,978	353.6	2,142	108.5	5,758	291.8
江別市	167	138.0	89	73.5	194	160.3
千歳市	128	130.7	60	61.3	134	136.8
恵庭市	119	169.2	42	59.7	129	183.4
北広島市	58	99.7	43	73.9	88	151.3
石狩市	59	103.7	33	58.0	78	137.2
当別町	23	144.5	117	735.1	62	389.5
新篠津村	2	65.7	3	98.6	2	65.7
札幌圏域	7,534	316.7	2,529	106.3	6,445	270.9
全道	13,731	262.8	4,418	84.6	11,802	225.9
全国※1	339,623	269.2	107,443	85.2	321,982	255.2

「令和 3 年（2021 年）北海道保健統計年報」

※1 「令和 2 年（2020 年）医師・歯科医師・薬剤師統計」

◆保健医療従事者数【保健師・助産師・看護師・准看護師・歯科衛生士・歯科技工士】（保健所別）

	保健師		助産師		看護師		准看護師		歯科衛生士		歯科技工士	
	実数	人口 10万対	実数	人口 10万対	実数	人口 10万対	実数	人口 10万対	実数	人口 10万対	実数	人口 10万対
札幌市	705	36.0	752	38.4	30,263	1,544.2	3,924	200.2	3,228	164.7	918	46.8
江別	117	60.0	49	25.1	1,486	762.0	357	183.1	207	106.1	63	32.3
千歳	97	43.2	37	16.5	1,902	847.6	521	232.2	206	91.8	95	42.3
札幌圏域	919	38.6	838	35.2	33,651	1,414.4	4,802	201.8	3,641	153.0	1,076	45.2
全道	3,065	59.5	1,620	31.5	66,733	1,296.5	14,913	289.7	6,531	126.9	1,940	37.7
全国※1	55,595	44.1	37,940	30.1	1,280,911	1,015.4	284,589	225.6	142,760	113.2	34,826	27.6

「令和 3 年（2021 年）北海道保健統計年報」

※1 「令和 2 年（2020 年）衛生行政報告例」